第 201 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録 ~~(案)~~

１．日時　　2011 年 5 月 30 日(月)　13:30～16:30

２．開催場所　　日本交通協会　特別会議室
(〒100-0005　東京都千代田区丸の内 3-4-1 新国際ビル 9 階)

３．出席者　　(順不同，敬称略，○：出席，×：欠席)

幹事団

長尾委員長(豊橋技科大)	○	田中(康)幹事(東京都市大)	○	芦辺幹事(住友電工)	○
高橋幹事補佐(電中研)	○	今井幹事補佐(東芝)	○		

１号委員

岡下委員(昭和電線)	×	岡本委員(富士電機) 代理 華表	○	小林委員(日立製作所)	○
清水委員(東芝)	×	高橋委員(ビスキャス)	×	中坊委員(日新電機)	×
菱川委員(ﾊﾝﾂﾏﾝ･ｼﾞｬﾊﾟﾝ)	×	藤井委員(日本ｶﾞｲｼ)	○	穂積委員(愛知工大)	×
本城委員(三菱電線)	×	武藤委員(三菱電機)	×	渡辺委員(日立電線)	○

２号委員

池田委員(JX-E)	○	岩本委員(東工大)	×	加藤委員(新潟大)	○
田中(祀)委員(早稲田大)	×	本間委員(電中研)	×		

４．提出資料

番号なし	第 200 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録（案)
DEI-201-1	第 88 回 基礎・材料・共通部門 研究調査運営委員会 議事録要点（誘電・絶縁材料技術委員会関係分のみ)
DEI-201-2	第 88 回 基礎・材料・共通部門 研究調査運営委員会 議事録(案)
DEI-201-3	全国大会，部門大会，各支部連合大会開催予定(H23 年～H26 年)
DEI-201-4	平成 22 年度 第 4 回 研究経営会議 議事録(案)抜粋
DEI-201-5	A 部門 活動資金運用状況
DEI-201-6	第 11 回 絶縁診断に基づく電力機器のアセットマネジメント調査専門委員会 議事録(案)
DEI-201-7	平成 23 年度 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定（2 次案)
DEI-201-8	調査専門委員会フォローシート（2010 年度計画)
DEI-201-9	2011 年度 犬石賞(Inuishi Memorial Award）投票について
DEI-201-10	ISEIM 2011 SS セッション
DEI-201-11	ISEIM 2011 申し込みリスト
DEI-201-12	ISEIM 2011 現地打ち合わせ 議事録(案)
DEI-201-13	ISEIM 2011 スケジュール イメージ案
DEI-201-14	同志社大学 寒梅館
DEI-201-15	電気学会 誘電・絶縁材料技術委員会 委員名簿

５．議事内容

5-1. 議事録の確認・承認（今井幹事補佐）

第 200 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録(案)の確認を行い、2 頁目下から 15 行目において(誤)学生人→(正)学生と修正の上、承認された。

5-2. 名簿の確認（高橋幹事補佐）

資料 DEI-201-15 に基づき、委員の所属等について確認を行った。修正がある場合、高橋幹事補佐に連絡する。

また、(株)日本 AE パワーシステム 研究開発本部 野田様の当技術委員会 1 号委員として参加に対して審議を行い、承認された。

5-3. 第 88 回 基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会 出席報告（長尾委員長）

資料 DEI-201-1 に基づき、基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会(以下、A 部門運営委員会)議事内容において、当技術委員会に関係の深い事項が報告された。

■ 電気学会各種大会予定

資料 DEI-201-3 に基づき、H23～26 年までの全国大会，部門大会，各支部連合大会の開催日時及び場所が報告された。

■ H23 年全国大会中止に伴う優秀論文発表賞の取扱について

震災の影響で中止した H23 年全国大会における優秀論文発表賞の表彰は中止とする。次年度の全国大会で、優秀論文発表賞の表彰件数を 2 割増しとすることで検討中。

■ 研究会資料の販売数減少に対する対策について

- 研究会資料を PDF 化し、①研究会の 1 週間前にダウンロード可とすることについて、②冊子体の必要性について、③研究会の収支について、継続して検討を行なうこととなった。
- 当技術委員会は、他技術委員会と比較して、研究会資料販売による収入に貢献しているが、以前よりは販売数が減っている。予約購買数は多いが、研究会の数(発表論文数)自体は減っているため、今後、対策が必要と考えられる。
- DEI-201-4 に記載の当技術委員会における研究会論文の発表件数 46 件は、実際と異なっている可能性がある。事務局に算出方法等を問い合わせる。

■ 調査専門委員会関係

- 解散後 2 年を経過した委員会で、技術報告が出ていない委員会については、次回の運営委員会で、状況を報告することになった。
- 当技術委員会関連では、「空間電荷」，「屋外ポリマー」，「放射線相互作用」，「絶縁劣化診断」が該当する。

■ アセットマネジメント調査専門委員会の解散が承認

当技術委員会傘下の「絶縁診断に基づく電力機器のアセットマネジメント調査専門委員会」の解散が承認された。

■ 活動資金関係

- 資料 DEI-201-5 に基づき、A 部門における活動資金運用状況が報告された。当技術委員会は、比較的積極的に申請している。
- マグネティクス技術委員会では、「研究奨励賞の表彰」として、優秀な研究

会論文について、技術委員会で表彰している。当技術委員会でも実施したい。
- 調査専門委員会における特別講演講師の交通費も申請することができる。但し、講演をオープンにして開催案内を電気学会誌等に掲載することが条件(講演後の調査専門委員会は、委員のみでクローズしてもよい)。

5-4. 第 11 回 絶縁診断に基づく電力機器のアセットマネジメント調査専門委員会 議事録（池田 調査専門委員会 委員長）

資料 DEI-201-6 に基づき、第 11 回絶縁診断に基づく電力機器のアセットマネジメント調査専門委員会 議事録が報告された。

- ■ 現在は、整理委員会として活動中。技術報告は現在作成中。
- ■ 技術報告は今年中を目処に作成中で、5 章立てで 55 頁程度になる予定。

5-5. 調査専門委員会 議事録について

- ■ 調査専門委員会議事録の当技術委員会への提出が少ない。各調査専門委員会委員長に提出をお願いする。
- ■ 電気学会事務局にも送付すること。

5-6. 平成 23 年度 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定の確認（田中幹事）

資料 DEI-201-7 に基づき、平成 23 年度 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定(4 次案)の確認を行った。

- ■ 当技術委員会における見学会は、ISEIM 2011 の Technical Tour とする。
- ■ 7 月 8 日に新潟で開催の「有機ナノ材料・構造制御，デバイス応用，一般(電気情報通信学会連催)」研究会における発表件数は 13 件で、その内 7 件が電気学会に帰属する発表となる。
- ■ H24 年 1 月に開催予定の有機エレクトロニクス研究会も、電気情報通信学会と誘電・絶縁材料技術委員会の連催とする。
- ■ 11 月に秋田で開催の「トリー，トラッキング，絶縁一般」研究会は、IEEE DEIS Japan Chapter の協賛とする。
- ■ ポリマー碍子調査専門委員会における研究会の開催について、本間委員長に問い合わせる。
- ■ ナノコンポジット調査専門委員会・空間電荷調査専門委員会での研究会において、集客のための企画を検討する(調査専門委員会の現状報告など)。技術委員会も同時に開催する場合は、2 日間の日程で行なう。
- ■ 研究会の発表論文を増やすため、企業の若手技術者に対するチュートリアル的な研究会の開催も検討する。

5-7. 調査専門委員会活動状況の確認（田中幹事）

資料 DEI-201-8 に基づき、調査専門委員会活動状況の確認を行なった。

■ 新機能・高性能有機デバイス応用のためのナノ材料・構造制御
- 5 月 19 日に委員会を開催。
- 7 月 8, 9 日に委員会と研究会を開催予定。

■ 「アジア地区における有機誘電体・導電性電気電子材料研究の最前線」に関する
- 5 月 13 日に委員会を開催。
- 8 月 4 日に次回委員会を開催予定。
- 10 月に「有機分子素子についての日韓シンポジウム」を九州で開催予定。
- 12 月に「バイオエレクトロニクスと有機ナノ技術がもたらす環境保全に関する日印セミナー」を姫路にて開催予定。

■ 先端複合ポリマーナノコンポジット誘電体の応用技術
- 3 月 24 日の第 4 回委員会は震災の影響で中止。
- 6 月 9 日に第 5 回委員会を開催予定。

■ 屋外用ポリマー絶縁材料の性能評価・改質技術
- 4 月 22 日に幹事会を開催。
- 4 月 28 日に委員会を開催。
- 次回委員会を 7 月中旬に開催予定。

■ PEA 法による空間電荷分布測定の校正法標準化と応用測定の開発
- 電気学会全国大会中に開催予定だった委員会は中止。
- 次回委員会を 6 月 7 日に開催予定。

■ 絶縁診断に基づく電力機器のアセットマネジメント
- 第 11 回委員会を 3 月 9 日に開催(最終の委員会)。
- 現状を「整理委員会 活動中」とする。

■ 有機薄膜及び複合膜のナノ界面物性とデバイス・センサ応用
- フォローシートから削除する。

■ 電力設備の絶縁材料から見た劣化診断技術
- 技術報告は未提出。
- 田中幹事から江原委員長に問い合わせをする。

■ 高分子材料と放射線の相互作用評価
- 技術報告は未提出。
- 次回までに打開策を検討する(田中幹事)。

■ 屋外用ポリマー絶縁材料の表面機能と長期性能
- 技術報告は未提出だが、95%完成している。
- 長尾委員長から本間委員長へ現状を問い合わせる。

■ 高電界電気絶縁における電荷挙動と界面
- 技術報告は未提出(転載許諾が問題)。
- 長尾委員長から、水谷幹事に現状を問い合わせる。

■ 繰り返しインパルスにおける部分放電計測
- フォローシートから削除する。
- 放電技術委員会については、後継の調査専門委員会を設置しない方針である。当技術委員会の下で行う場合、関係者の意見も収集しながら、継続して検討を行なう(長尾委員長)。
-

5-8. 2011 年度 犬石賞について（芦部幹事）

資料 DEI-201-9 に基づき、2011 年犬石賞の投票結果が報告された。

- 投票にて 1 位となった Prof. J. Tanaka に、受賞(来日)を打診しているが連絡がない。また、現在はリタイヤしているため、来日は難しい状況。
- 1 位の Prof. M. Zahn に、受賞(来日)を打診する(1～2 週間の期限付き)。
- Prof. M. Zahn が来日できない場合、或いは連絡がない場合、3 位の Prof. C. Laurent(ISEIM 2011 に参加予定)に犬石賞を授与する。

5-9. ISEIM 2011 SSセッションについて（今井幹事補佐）

資料 DEI-201-10 に基づき、ISEIM 2011 SS セッションにおける現状の申し込み数が報告された。

- 現在までの発表件数は、日立製作所，ビスキャス，ハンツマン・ジャパン，電力中央研究所，東芝の 5 件。
- 富士電機，三菱電機は、発表を検討中。
- 日本ガイシ(藤井委員)，JX-E(池田委員)，住友電工(芦部幹事)，日立電線(渡辺委員)からの発表は難しい。
- 前回 ISEIM 及び過去の絶縁材料シンポジウムの SS セッション発表者にも参加を呼びかける(今井幹事補佐)。

5-10. ISEIM 2011 発表者リストについて（田中幹事）

資料 DEI-201-11 に基づき、ISEIM 2011 に発表者リストが報告された。

- 発表件数は 115 件となっている。
- 上海交通大 10 件，西安交通大 26 件，天津大 9 件，早稲田大 8 件と、発表者の所属機関に偏りがある。
- 各国 1 人ぐらいの割合で、Session Invited としての講演を検討する。

5-11. ISEIM 2011 関する現地打ち合わせについて（高橋幹事補佐）

資料 DEI-201-12～14 に基づき、ISEIM 2011 に関する現地打ち合わせ結果が報告された。

- ISEIM 当日、幹事団が事務作業を行なえる部屋に用意を、同志社大加藤先生にお願いした。
- Registration，Welcome party は、会場前(カフェレストラン入り口)を予定している。
- Oral 発表は、ハーディーホールと地下会議室を予定している(ハーディーホールは収容人数が多いため、使用しないエリアを決める必要がある)。
- Poster 発表は、ギャラリーとハーディーホール廊下(ホワイエ)を予定している。
- ワイヤレス LAN(WiMAX)を利用できるように検討する(同志社大の構内無線 LAN は使用しない予定)。
- バンケットは京都平安ホテル「東山」とする。
- Technical tour のバスは、バンケット会場に直行する。

- ISEIM 会場から、バンケット会場までは、歩いて 10 分程度。
- バンケットは着座のビュッフェスタイルとする。
- 4400 円、或いは 5000 円のメニューに 1800 円のドリンク飲み放題を付ける予定。
- ベジタリアン，各種宗教対応も可能。
- マイク等の設備料金はかからない。PC とプロジェクターは持ち込み可能。
- 出し物として舞妓さんをお願いすると 15 万円程度の費用が必要となる。他のアトラクション等を、ISEIM 組織委員会で検討してもよい。

６．次回技術委員会の開催

第 202 回 誘電・絶縁材料技術委員会は、ISEIM 組織委員会と同時開催とし、7 月に京都で開催する。開催候補日としては、7 月 20 日，21 日，29 日とする。

－以上－